

三島中央病院 だより

2011年4月14日
三島大社 神池に舞う桜



撮影者 斎田 英之

TOPICS

東日本大震災 ～被災地への支援活動～

28

2011年春号

2011/4/28 発行

理事長挨拶

東日本大震災

～被災地への支援活動～

ミニレクチャー開催中!!

計画停電についてのお知らせ

当院の救急患者さん受入体制について

三島中央病院救急受入件数推移表

栄養課 スペシャルメニュー!!

編集後記

(差込)

外来担当医表

理念・患者さんの権利など

理事長挨拶



関 伸二 理事長

3月11日、東北の三陸沖を震源にマグニチュード9.0と想像を絶する巨大地震が発生、地震による大津波で青森県から千葉県にかけての太平洋沿岸地域は壊滅的被害を蒙り、4月15日現在、死者1万3591名、安否不明者1万4497名と驚くべき多くの方々の命が失われました。福島県ではこれに原子力発電所の破壊による放射能被害という人災も加わり、住み慣れた故郷を離れざるを得なくなった地域では町単位で他県等に移らなければならなくなり、本当にお気の毒という思いで一杯です。先ずは亡くなられた方々に哀悼の意を表すとともに、被災された多くの皆様方に心からお見舞い申し上げる次第です。

当院は医療機関でありますので本来であれば災害発生後、速やかに医療チームを組んで救援に向かわなければならないのですが、残念ながら現在の規模ではそこまでのマンパワーを確保できず、結局は3月29・30日に大船渡市、4月3日及び21・22日に南相馬市、大槌町に医薬品・食料品等をお届けすることしか出来ませんでした。現地に入って目にしたのは信じがたい悲惨な光景です。家を失い、船や漁具あるいは田畑を失われた方々が茫然と立っている姿を見ると我々もただ涙するほかありませんでした。

今回の災害は阪神淡路大震災よりはるかに被害が大きかつ広範囲にわたり、まだ多数の安否不明者がいます。その上、原発事故が起こったことで、これからの復興への道程はたいへん厳しいものとなり、我々全てがその長い道程を共に歩む覚悟で、被災された方々の生活が一日も早く元に戻るよう、心して頑張らなければならないと思います。

今後30年以内に起こる可能性の高い東海地震のことを考えると、現在の当病院の規模では今回のような災害への対応が十分出来ません。災害医療については日ごろからそのような事態を想定して対策を立てていかなければなりません。これは私ども病院の頑張りだけではとても対応できず、行政とタイアップして災害発生時には1人でも多くの市民の皆様の命を救えるよう努力していきたいと考えております。

東日本大震災 ～被災地への支援活動～

去る2011年3月29・30日、4月3日、4月21・22日と合計3回、関理事長を始めとする5～6名のスタッフにより災害支援物資を持参して1回目：岩手県大船渡市 2回目：福島県南相馬市 3回目：岩手県大槌町を訪問しました。



大槌町
4月21・22日

大船渡市
3月29・30日

南相馬市
4月3日



3月29・30日 岩手県大船渡市へ支援物資を持参

まだ震災の影響が強く残る3月29・30日、岩手県大船渡市に支援物資を届けました。持参した支援物資は仮診療所・市役所・避難所の3か所を巡りながらお渡しました。



3月28日23:00頃病院北側駐輪場にて4tトラックに支援物資の積込作業行方



翌3月29日大船渡市にて支援物資引き渡す(左より4番目が関理事長)

大船渡市へ持参した支援物資(3月29・30日)

- ・ ガソリン 80リットル
- ・ 歯ブラシ100本・歯磨き粉30個
- ・ サージマスク 6000枚
- ・ 微粒子マスク 240枚
- ・ ソフトグローブ 6000枚
- ・ ハンドウォッシュ 18本
- ・ 薬
 - プレドニン錠 1500錠
 - PL配合顆粒 2000包
 - フロモックス錠 1000錠
 - メイアクトMS錠 1000錠
 - クラビット錠 1000錠
 - ノルバスク錠 1000錠
 - プロプレス錠 2000錠
 - アマリール錠 1000錠
 - タミフルカプセル 300カプセル

- ・ 輸液・栄養・電解質製剤 4400本
- ・ 抗菌剤 1000本
- ・ 消毒剤 40本
- ・ ミネラルウォーター 2ℓ 6本入×60箱
- ・ 五目・ひじき缶 96食分
- ・ けんちん・豚汁 150食分
- ・ のり 150缶分
- ・ みかん
- ・ おやつ・ジュース
- ・ 缶詰・味噌汁
- ・ 米 10kg×100袋



4月3日 福島県南相馬市を震災見舞い

福島県南相馬市所在の医療法人社団 慈誠会 介護老人保健施設 ヨッシーランドも大津波により壊滅的な被害を受けました。慈誠会の理事長 猪又義光氏と志仁会 関理事長とは旧知の間柄の事もあり、南相馬市を訪問しました。



津波に被災した介護老人保健施設 ヨッシーランド(海岸より直線でおよそ2km)



ヨッシーランドより海側を撮影 ほとんど構造物は残っていない



ヨッシーランドを見て左手側はわずかな高低差があるだけで津波による被害は発生せず

4月21・22日 岩手県大槌町へ支援物資を持参

岩手県大槌町には事前に調査員を派遣し、必要な物資を町役場に伺い持参しました。左の写真は物資の下に敷くための大型パレットを自衛隊のフォークリフトで降ろしている写真、右の写真は虫よけスプレーや殺虫剤、清掃用具などの生活物資を降ろしている写真です。



4月21日支援物資の引き渡し作業
(右端のトレーナー姿が菊地事務長)



自衛隊員の手伝いで降ろされる支援物資

大槌町へ持参した支援物資(4月21・22日)

・パレット (荷台用)	180枚	・大工道具一式	40組
・釘	15箱	・短柄土間箒	120本
・長柄土間箒	120本	・MMエコライトダストパン	120本
・三つ手チリトリ	20本	・モップ絞り器C型	20個
・グリーンモップ (糸付)	120本	・タオル白	1200枚
・ポリ袋透明 10枚×60冊	2箱	・ポリ袋 青 10枚×40冊	1箱
・ポリバケツ 広口	120個	・ナイロンデッキブラシ (竹柄)	40本
・竹箒	40本	・たわし、他	
・アースジェット	100本	・ムシガード	10個
・ハリックス55E X 20枚入	9箱	・サロンパスA 140枚入	9箱
・サロンパスA 80枚入	2箱	・ホームパスE 140枚入	4箱
・ダマリンL	10本	・ダマリンL液	10本
・ブテナロック液	10本	・ブテナロッククリーム	10本
・トイレットペーパー100個入	2箱	・みかん	40箱
・リポビタンD(10本入×5) 7 ケース		・セパホルンZⅢ(10本入×5)	2ケース
・ゴム手袋ソフトエース紫 L 120組		・ゴム手袋ソフトエース 桃 M	120組
・サラテクト 無香料63本	クール43本	シトラス10本	

今回の被災地への搬送に際し、様々な方面からのご支援を頂きました。

ここに深い感謝の意を表します。

株式会社静岡銀行清水町支店様

静浦運輸株式会社 高木様、久保田様

田村自動車工業様

アリス鈴木薬局様

小川法律事務所様

ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

計画停電時についてのお知らせ

この夏は東日本大震災の影響のため、東京電力管内では計画停電が予想されます。三島中央病院では停電中でも診察を行う予定ですが、一部の検査やレントゲンなどが撮影出来ない事もあります。ご不便をお掛けすることもあるかと思いますが、ご理解のほどよろしく願います。また、ご質問などありましたら遠慮なくお近くのスタッフに声をお掛け下さい。

当院の救急患者さん受入体制について

当院は、県より指定を受けた救急指定病院で、昼間の時間帯以外も救急患者さんの診療を行っています。夜間および休日の救急患者さんの受け入れは、この地域の他の医療機関と協力し、主に当番制で行っています。簡単にその仕組みを次に説明します。

救急疾患は、病気の程度(重症度)で、3段階に分けて考えます。軽い方から1次、2次となり、生命の危機に瀕するような状態は3次救急として扱われます。当番制を担う病院は、主に2次に該当する救急患者さんの診療を行います。三島市では、当院と三島社会保険病院が、この2次救急当番制に参加し、1次は三島メディカルセンターが担います。(曜日・時間帯で変動あり)

連絡先

三島市医師会メディカルセンター (☎972-0711)

静岡県内の当番医情報 (☎0800-222-1199)

子どもの救急電話相談 (☎054-247-9910または#8000:午後6時~翌朝8時)

精神科救急情報 (☎054-253-9905:24時間対応)

消防署 (☎972-5800) 消防テレホンサービス (☎935-6699)

平日の夜間			土曜日・日曜日・休日等		
外科 内科 小児科	午後6時 } 午後10時	三島市医師会 メディカルセンター (☎972-0711)	外科 内科 小児科	午前9時~午後9時 (土曜日は午後2時 ~午後9時)	三島市医師会 メディカルセンター (☎972-0711)
外科	午後10時 } 翌日午前9時	三島中央病院・三島社会保険病院が当番制で診療(※消防署へ電話で確認してから受診してください。)	外科	午後9時 } 翌日午前9時	三島中央病院・三島社会保険病院が当番制で診療(※消防署へ電話で確認してから受診してください。)
外科 内科 小児科	午後8時30分 } 翌日午前7時	沼津夜間 救急医療センター (☎926-8699) ※木曜日は外科のみ 午後11時30分まで	外科 内科 小児科	午後6時 } 翌日午前7時	沼津夜間 救急医療センター (☎926-8699)
耳鼻科 眼科 産婦人科			耳鼻科 眼科 産婦人科	午前8時 } 午後5時 (日曜・休日のみ)	担当医師が当番制で診療するため、消防署へお問い合わせください。

「広報みしま」より抜粋

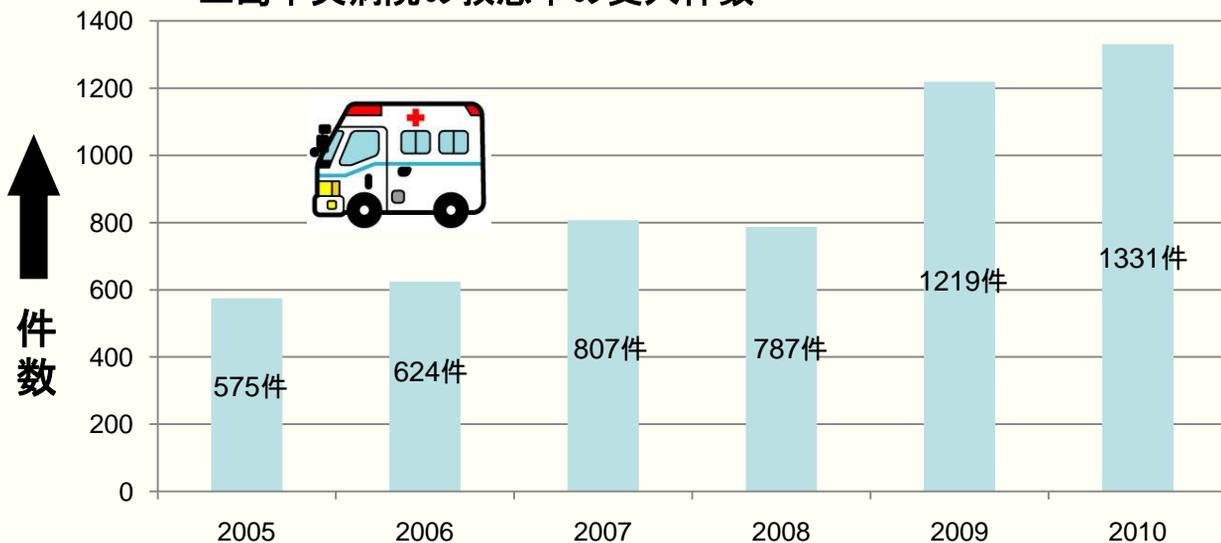


また三島市の当番制とは別に、さらに広い地域での2次救急体制が存在します。そこでは内科・外科以外に、より専門性の高い循環器科・脳神経外科・小児科なども取り扱います。当院もこの広い範囲の当番制で、内科・外科・循環器科・脳神経外科を分担しております。

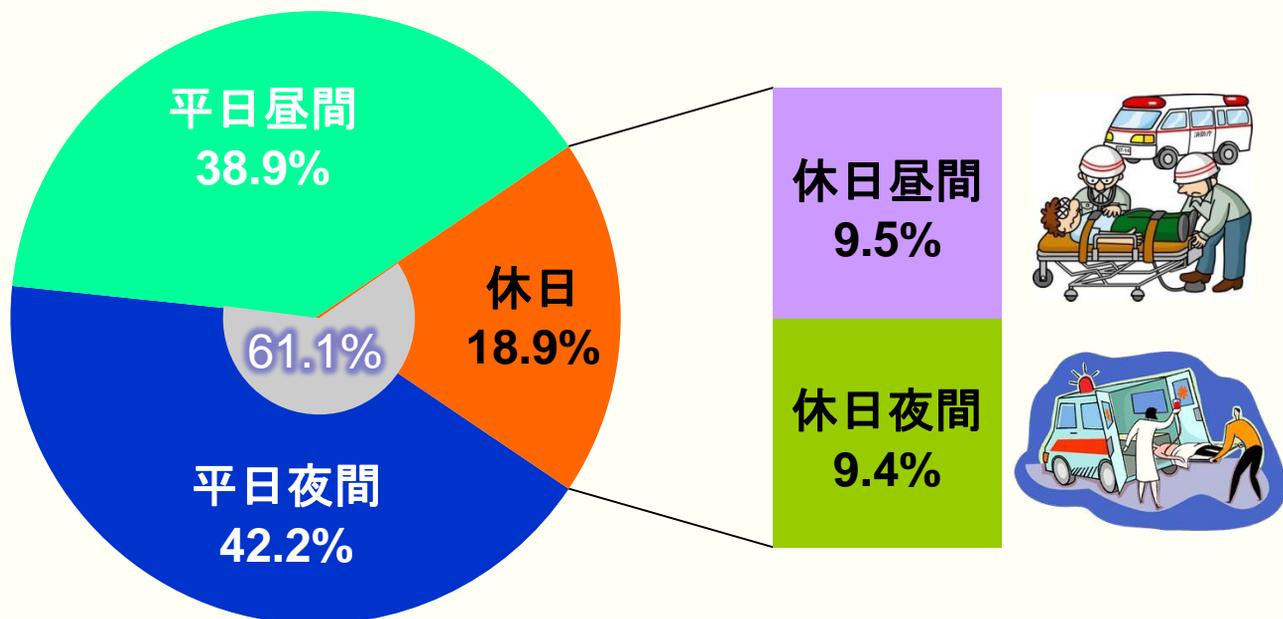
三島中央病院救急受入件数推移表

2次救急は入院や手術を要する患者さんが対象となるため、1次救急を担当する機関から紹介を受けるケースと、救急隊がすぐに2次救急病院への搬送が必要と判断し、救急隊より直接収容依頼を受けるケースがあります。言い換えると、2次救急体制は重症あるいは今後重症化する患者さんへの医療を優先に考え構築されています。このため、1次救急に該当する軽症の患者さんが、当日担当の2次救急病院へ直接来院されると、その機能が損なわれる可能性があるため、一般の方には当番病院は公表されていません。もし、休日・夜間に急病になったら、まず、1次救急を担当する医療機関(三島医師会メディカルセンター・沼津夜間救急医療センターなど)または消防署へお問い合わせください。1次救急を担当する医療機関は、各医師会や地域の広報等に案内があります。

三島中央病院の救急車の受入件数



棒グラフは、救急車で搬送された全件数を表していますが、この数年増加傾向です。また円グラフでは、休日・夜間の搬送が6割を超えており、当地域の2次救急体制の重要性を伺い知ることができます。



病気はいつ発症するかわかりません。できるだけ早い対応で重症化せずに済む場合もあります。今後も他の医療機関との連携を深め、救急の受け入れ体制を充実させて参ります。



●選び方

さやの緑が濃く、つや、弾力性があるもので、豆の形がそろった物を選びましょう。そろまめの美味しさは3日だけと言われるほど鮮度に味が左右されます。

●そろまめの栄養と効能

たんぱく質、糖質、ビタミンA・B1・B2・C・食物繊維などを含み比較的栄養バランスがとりやすい食品です。疲労回復、イライラ解消、夏バテ解消、食欲増進、肥満予防、むくみ改善、消化器機能の強化などがあります。体内の余分な水分を取って水分の代謝を促す作用があります。

●作り方

- ①そろまめは軽く塩ゆでします。新玉ねぎは薄切りにします。
- ②フライパンを熱し、マヨネーズを入れて新玉ねぎを炒め、こしょうを少々振ったらしんなりするまで炒める。
- ③耐熱皿に炒めた玉ねぎを敷き、塩ゆでしておいたそろまめを載せたら、とろけるチーズを載せてオーブントースターで10分位焼きます。

●ポイント

新玉ねぎではなく、普通の玉ねぎでも出来ます。食べる時に少し醤油をかけると和風に、ケチャップだと洋風になります。

●感想

そろまめには特に味付けしてないので、シンプルにいただけます。そろまめとチーズが良く合い、満腹感も得られます。お好みで鶏肉やホワイトソースなど色々な具材を入れてアレンジしてみてください。

そろまめと新玉ねぎの チーズ焼き

1人分 185kcal 塩分 0.2g

●材料/1人分

そろまめ	40g
新玉ねぎ	小1/2
マヨネーズ	5g
こしょう	少々
とろけるチーズ	20g
パセリ	少々



栄養課:小林, 勝呂, 宮本 作

編集後記



2011年3月11日の東日本大震災は多くの日本人にとって忘れることが出来ない、つらい日となりました。当病院もかなり揺れました。(気象庁の発表では三島市は震度4) 揺れの大きさもさることながら、揺れている時間がいつもの地震に比べずっと長かったように思え、「これはたまたごとではない」と直感的に感じました。テレビをつけると東北地方の太平洋沖を中心に大変大きな地震が発生し、大津波警報がすぐに発令されておりました。当病院の安全確認(幸い異常無でした)を終えテレビをつけ直すと大津波が町を襲っている映像が見え、強い恐怖を感じました。時間の経過と共に多くの映像がテレビで流されましたが、その時はまだこれほど大きな人的被害が出るとは思いませんでした。4月25日現在もまだ多くの方が行方不明のままになっており、また避難生活をされている被災者の方々も大変な人数となっております。当病院は「少しでも被災者の方々のお役にたてれば」との思いから災害募金を募っております。(募金箱は受付前にあります)皆様のご協力をお願いします。 広報委員一同